

## 皆さんの声を市政に、 「対話」によるまちづくり

まちづくりを進めるにあたっては、多くの住民が意見を出し合うことが大切です。市はそのための取り組みとして、「対話」によるまちづくりを進めています。

### ワークショップ型の 市政懇談会を開催

従来の市政懇談会は、地域から提出された事項に対し市側が答え、その後懇談するという形式でした。本年度コミュニケーション会議から希望のあった7地域で、ワークショップを取り入れた市政懇談会を行います。ワークショップは、年代や性別、立場などにとらわれず発言できることが特徴です。ワークショップ型の市政懇談会では、4〜5人ずつテーブルに座り、テーマに沿って意見を紙面に書き出す方法で行います。

### ワークショップ型市政懇談会の 対話ルール

- ワークショップ型市政懇談会のルールは次の三つです。
- 自分ばかり話さない
- 相手の意見を否定しない
- 楽しい雰囲気有话し合う

誰もが気負わず話し合える雰囲気をつくりながら、「ファシリテーター」と呼ばれる進行役が参加者の意見を引き出します。ここで出された意見は、分野別に分類し、これからの市政に生かします。

市は今後も、協働のまちづくりを進めるため、ワークショップの手法を活用する場を積極的に設けていきます。

#### 【問い合わせ】

本庁地域づくり課 ☎24-2111  
1 内線446

### ■湯口地区でワークショップ型の市政懇談会を開催

湯口振興センターで6月13日、市内で初めてワークショップ型の市政懇談会を開催しました。

話し合いのテーマは▶湯口地区の誇りに思うこと・残念に思うこと▶10年後あなたは湯口地区でどんな生活をしていきたいか—の二つ。参加者は自由に模造紙にペンを走らせ、対話を楽しんでいました。

参加者は「対話でみんなの意見を聞くことで、改めて地域を考えられた」「気兼ねなく自分の意見を言えた」と話していました。

